

特 集

流域からエスチュアリー生態系、水環境と古環境

流域からエスチュアリーは、人間活動の影響を最も受ける水域・地域であり、現在の環境の理解や評価には、生態系や水環境の基礎的なデータの取得と解析が重要です。また現在の環境を、過去からの変遷から見ることによって人間活動の影響の識別を可能にします。Laguna (汽水域研究)では、中海・宍道湖の特集として「中海・宍道湖の浮遊物質、堆積物と環境変化」と「中海・宍道湖の底生生物群集と水環境」を、26巻と27巻に出版しました。本特集「流域からエスチュアリー生態系、水環境と古環境」は、宍道湖に加えて、北海道のシブノツナイ湖及び藻琴湖、福井県の北潟湖、また京都府の舞鶴湾、また流域の研究では福島県の三春ダムのさくら湖の論文からなり、生態系、水環境、古環境、調査手法などの7編の論文から構成されています。

特集号に投稿頂いた著者の皆様、また査読にご協力頂いた方々、英文校閲にご協力頂いたアリゾナ大学の David Dettman 博士 (島根大学エスチュアリー研究センター客員研究員) に御礼申し上げます。

特集号編集委員会

編集委員長

齋藤文紀 (島根大学エスチュアリー研究センター)

編集委員

三瓶良和 (島根大学総合理工学部)

山口啓子 (島根大学生物資源科学部)

瀬戸浩二 (島根大学エスチュアリー研究センター)

倉田健悟 (島根大学生物資源科学部)

香月興太 (島根大学エスチュアリー研究センター)

目次

- Laguna 29:9-10
巻頭言

- Laguna 29:11-25
1) [Short Article] Modern benthic foraminiferal fauna (Rhizaria) in Miyazu Bay, central Japan
Hiroyuki Takata, Satoshi Tanaka, Hideki Sawada and Keita W. Suzuki

- Laguna 29:27-33
2) [短報] 長期間の連続観測データからみた宍道湖の水質の変化特性
金 相曄・瀬戸浩二・南 憲吏・林 昌平・清家 泰

- Laguna 29:35-56
3) 北海道オホーツク海側の2つのヤマトシジミ漁場シブノツナイ湖及び藻琴湖の湖沼環境と水生生物の過去75年の変遷
松田烈至・園田 武・瀬戸浩二・香月興太

- Laguna 29:57-74
4) 福井県北潟湖堆積物の花粉分析とCNS元素分析からみた環境変遷と人間活動
北川淳子・吉田明弘・篠塚良嗣・長谷部徳子

- Laguna 29:75-86
5) 宍道湖西岸で採取された完新世堆積物(HK19コア)の残留磁化と磁気特性：汽水域の古環境復元への示唆
林田 明・齋藤文紀・瀬戸浩二・香月興太・服部真也・八木涼太

- Laguna 29:87-98
6) 福島県さくら湖における計量魚群探知機を用いた藍藻類の音響計測の試み
中森 陸・南 憲吏・白川北斗・朱 妍卉・沖津二郎・大杉奉功・東 信行・金 相曄・谷田一三・黒田充樹・長岡祥平・佐藤信彦・宮下和士

- Laguna 29:99-114
7) 成層化したダム湖におけるウグイ (*Pseudaspius hakonensis*) の生息場と環境要因との関係の解明
長岡祥平・黒田充樹・南 憲吏・沖津二郎・白川北斗・大杉奉功・東 信行・上田健太・朱 妍卉・中森 陸・佐藤信彦・宮下和士